



八地申  
第24号

『変革 2027』の理念である「ヒト」を起点とした信頼と豊かさの創造」に逆行した障がい者への合理的配慮を欠いた差別・ハラスメントの是正を求める緊急申し入れ

団体交渉を  
振り返る

具体的に要求したのに…

1. ハンテを抱えた社員に対する合理的配慮に欠けたハラスメントを行った責任の所在を明らかにするとともにハラスメント行為を直ちに是正すること。

輸送サービス労組



JR 東日本会社

公式回答

会社として、就業規則においてハラスメントを禁止しており、あらゆるハラスメントを容認するものではない。

え？



この回答をした時点で

**聞いていることに答えていない**

と思いませんか？

5月18日の第1回交渉、それも申し入れから1ヶ月近くも経って「慎重に調査した」(会社答弁)割にこのような回答を受けた挙げ句、労使認識の一致を図るべく議論を続けたものの、**当事者全てに聴き取りもせず「激励の意だ」とハラスメントを認めない**ばかりか、「本人が聞こえない」とした組合の指摘を「聞き取りづらい」と**執拗に言い換えて指摘を受け止めない**ため、議論が噛み合わずに**中断**しました。

さらに、5月27日の第2回交渉では当事者全てへの調査結果について回答を求めたところ…

**「総合的に判断して回答を差し控える。」**

…と、回答そのものを拒否。こんな対応で終わらせていいはずがないでしょう！

**これを不当労働行為と言わずに、何と云う!?  
労働者の苦悩に公の場で向き合えない会社は、  
厚顔無恥も甚だしいぞ！**